

地域経済動向調査

1 事業内容

1) 中小企業景況調査の実施

調査対象事業者(重点支援対象事業者)を100者リストアップし、管内事業者の売上高推移、採算推移、資金繰り状況、設備投資状況、経営上の問題点等について四半期毎に調査を実施する。調査結果を『商工だより』やHP等で公表する。

2) 国が提供するビッグデータの活用

「RESAS(地域経済分析システム)」を活用した地域の経済動向分析を行い、個別支援に活用する。

3) 国・県等がとりまとめた各種統計データを、各機関のHP等から情報収集する

収集した情報を個別支援に活用する。また、『商工会だより』やHP等で公表する。

▶ 定量目標

内容	目標件数
景況調査実施事業者数(延べ)	400
景況調査公表回数	4
RESAS活用件数	10
各種データ公表回数	4

2 この取組での期待する効果

◎地域産業の課題や事業者の経営実態、経営上の問題点を把握する事ができ、事業計画策定支援等に反映させる

経営状況の分析

1 事業内容

1) 経営分析

支援対象 選定した100者の重点支援対象事業者の中で、特に経営革新・事業承継を行う者や持続的発展の取組に意欲のある事業者。

支援方法 ローカルベンチマークシートを活用して財務分析及び経営分析実施支援を行う。作成した経営分析データについては、共通フォルダーに保存し、情報の共有を図る。尚、実施については各本支所の経営指導員と指導職員(記帳選任職員)が連携して取り組む。

2) 経営分析セミナー

実施方法 本会の5地区において、各地区3～5名程度の受講者で、各地区の経営指導員が講師となって実施する

▶ 定量目標

内容	目標件数
個別支援事業者数	100
財務分析実施件数	84
経営分析実施件数	84
経営分析セミナー参加者数	15

2 この取組での期待する効果

◎経営分析による経営課題の見える化

◎ビジネスモデルの再構築及び事業計画策定につなげる

事業計画策定支援

1 事業内容

1) 経営計画策定

支援対象 経営革新・事業承継を行う者や持続的発展の取組に意欲のある事業者で、経営分析を実施した事業者。

支援方法 内部環境分析・外部環境分析を踏まえ、経営者の想いをしっかりとヒアリングし計画策定の指導、助言を行う。策定支援中は支援課長や他の経営指導員に報告し助言を受ける。必要に応じて専門家等と連携し実効性の高い計画策定を支援する。

2) 経営計画作成セミナー

実施方法 本会の5地区において、各地区3～5名程度の受講者で、各地区の経営指導員が講師となって実施する

3) 事業承継セミナー

実施方法 浜田市及び浜田商工会議所と連携して実施する。

▶ 定量目標

内容	目標件数
事業計画策定支援数	50
事業計画作成セミナー参加者数	15
事業承継セミナー開催数	1

2 この取組での期待する効果

- ◎外部、内部環境等を踏まえた実効性の高い計画が策定できる
- ◎経営者の意識改革が進む。戦略的経営への転換が図れる

事業計画実施支援

1 事業内容

- 四半期毎の進捗状況の確認と指導・助言
- 補助金等の施策を活用した事業者に対するフォローアップの強化
- 計画にずれが生じている事業者に対する支援頻度の増及び経営指導員間の連携や専門家の活用による支援の実施
- 有用な補助金・施策等の情報提供と活用の支援

▶ 定量目標

内容	目標件数
事業計画実施支援	50
実施支援頻度(延数)	200
売上2%以上増加件数	10
粗利率1%以上増加件数	10

2 この取組での期待する効果

- 伴走型支援の実践により、事業者の持続的発展に繋がる

需要動向調査

1 事業内容

1) 情報収集の方法

- 商品や役務に関する情報をインターネットや新聞、業界誌、経済情報誌から収集する
- 収集情報について経営支援会議で情報交換を行うとともに、他支援機関や専門家からも情報を収集する
- 業種別アンケートの実施
対象業種の選定及び事業者等へのヒアリング等によるニーズや喫緊の課題等についての調査内容決定等、支援会議で協議の上、実施する。

▶ 定量目標

内容	目標件数
情報活用支援事業者	50
需要動向調査実施事業者	30

2 この取組での期待する効果

- ◎実現性の高い計画策定や新商品・新サービスの開発につながる。
- ◎計画実施の効果的な支援につながる

新需要開拓

1 事業内容

1) 需要開拓の啓発と取り組みの提案

- 対象事業者に対して需要開拓に関する意識調査を行うとともに、各事業所に応じた取組を提案及び意識醸成。
- 需要開拓セミナーによる動機付け。本年度はコロナ禍における販路開拓(WEB商談等)について開催する。

2) 情報発信の強化による新たな需要開拓の支援

- ITを活用した情報発信支援
ホームページを有する事業者を含め、本会でポータルサイトを設置し、各小規模事業者の情報発信の強化に取り組む。また、効果的な情報発信が出来るようIT専門家等と連携して支援する。
- 「浜田の商品リスト」「ニッポンセレクト.com」の登録を進める

令和3年度経営発達支援計画

3) 展示会・商談会等による需要開拓の支援

- 周辺地域⇒石見特産品商談会・中四国ビジネスフェア等への出展支援
- 首都圏等⇒スーパーマーケットトレードショー・アグリフードEXPO・インターナショナルギフトショー等への出展支援
- 出展後は商品ブラッシュアップ・新商品開発・営業活動の強化について支援を行う

4) 関係機関等との連携による需要開拓の支援

- 浜田市・はまだ産業振興機構との連携による「浜田の商品リスト」登録及び「いわみ特産品商談会」参加

▶ 定量目標

内容	目標件数
需要開拓セミナー参加者	15
ITを活用した情報発信支援事業者数	100
浜田の商品リスト新規登録者数	2
ニッポンセレクト.com新規登録者数	5
展示会・商談会への参加事業者数	10
商談成立件数	5
売上増加事業者数	10

2 この取組での期待する効果

- ◎事業者の持続的発展に向けた取り組みを促進できる
- ◎需要開拓に寄与する

地域経済活性化

1 事業内容

1) 行政と連携した地域経済活性化の取り組み

- 市の本所及び各支所と地域経済活性化を検討するとともに、市や事業者団体と連携して事業を推進する

2) 地域内資金循環等新事業検討の取り組み

- 個者で取組んでいる広域横断の取組みを支援し、地域内へ拡大し地域内資金循環を検討するものにつなげていく
- 浜田市が推進する「BUY浜田運動」を管内でも浸透させ、地域内の経済循環をつくる
- ポータルサイトを作成し、地域内消費者を中心に需要の獲得を図る。

支援能力向上の取組

1 支援機関連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換

情報交換の場と内容
1) 県連主催の連絡会議等で他商工会の事業者や需要動向について情報を交換する
2) 公庫・協会の協議会等において、支援ノウハウや事業者・需要動向について情報を交換する
3) 県商工労政・産業振興財団と支援状況や支援ノウハウ、事業者・需要動向について情報を交換する
4) 浜田市事業承継推進会議での支援ノウハウ等の情報交換の実施
5) はまだ機構・広島市場開拓室・PRセンターとの情報交換の場で支援状況・需要動向等の情報を交換する
6) 専門家を通じて支援ノウハウ・市場の需要動向・需要開拓の可能性等について情報を交換する
7) 浜田市担当課との情報交換会の開催

2 経営指導員等の支援能力向上

研修等の場と内容
1) 経営指導員研修受講⇒計画策定・需要開拓・利益確保につながる支援ノウハウの習得
2) 指導職員研修受講⇒経営指導員研修の受講・指導職員研修の受講
3) 各地区経営指導員の経営支援事例の提供を受け、具体的な支援事例により支援能力の向上を図る
4) Web研修の受講
5) 支援課長が支援の助言を行うとともにOJTによる支援能力の向上を図る
6) 支所において、指導員が指導職員に対して経営分析等の助言をOJTにより行う

3 組織内での共有

共有の場と内容
1) 指導員は毎月の経営支援会議で、支援情報の共有を図るとともに、意見交換により支援能力向上を図る
2) 支所内では、指導員と指導職員が積極的に情報共有を図る
3) 指導職員は四半期毎の指導職員会議で支援ノウハウの共有を図り、指導員を講師にノウハウ習得の研修を実施する
4) 各職員は小規模事業者支援システムにより情報を共有する

令和3年度経営発達支援計画

4 事業の評価・見直し

共有の場と内容

- 1) 四半期毎の事務局内評価会議により実施状況・成果・問題点等を確認し事業推進方法等の見直しを行う
- 2) 年2回の監査会で、事業実施状況・成果を報告し監査会の評価・意見により事業推進方法等の見直しを行う
- 3) 外部有識者による評価委員会を設置し、実施状況・成果について評価・見直し案の提示を受ける
- 4) 理事会で監査会・外部委員会の評価・意見・見直し案を報告し、理事会とし評価・見直し方針を決定する
- 5) 評価・見直し結果について、会報等により情報発信するとともに、ホームページで公表する